

近畿伝達研修会 ルール資料

次の文章で、正しいものには「○」、間違っているものには「×」を記入し、「×」の場合はその理由を明記しなさい。

- 1 () 4回裏、死球で出塁した5番Aに代わり、代走Bが盗塁失敗で三死となった。5回表、Aが無通告で守備についたので、副審に助言した。
- 2 () 無死一塁。2番打者は右翼越えの打球を放ち三塁に達したが、オーバースライドしてしまいタッチアウトになった。塁を得たと判断して三塁打を記録した。
- 3 () 無死一塁。バントを処理した三塁手が一塁走者をアウトにしようと二塁へ送球したが、ベースカバーの遊撃手が落球したため走者を生かしてしまった。走者が二塁に進塁したため、打者には犠牲打を記録した。
- 4 () 無死満塁。次打者Aが打撃妨害で出塁したため、各走者はそれぞれ進塁し得点を挙げた。打撃妨害での進塁の為、Aには打点を与えない。
- 5 () 一死二・三塁。スクイズプレイが行われた時に捕手が打撃を妨害し、打者に一塁への安全進塁権が与えられた。打者走者、各走者は捕手の失策による進塁とした。
- 6 () フェアボールを打ったり、四球や第3ストライクの落球により打者走者になった打者が、一塁に向かわなかったり、味方のベンチに入りアウトが宣告されたときには、一塁手に刺殺を記録する。
- 7 () 三塁ゴロを三塁手が一塁に悪送球し、球は右翼方面に転がった。これを見て打者走者は二塁へ向かったが、右翼手から二塁ベースカバーの遊撃手に送球されタッチアウトになった。一連のプレイの為、最初に一塁に送球した三塁手にも補殺を与えて良い。
- 8 () 無死一・二塁。3番打者は二塁へフライを打ち上げインフィールドフライが宣告されたが、二塁手はこれを落球してしまった。各走者は走ったが、二塁手はすぐにボールを拾い遊撃手に送球し、一塁走者をタッチアウトにした。この間に三塁に進塁した二塁走者は、二塁手の落球(失策)による進塁とした。
- 9 () 無死一塁。ボールカウント0-1から2球目を投球しようとした投手が落球して、一塁走者は二塁へ進塁した。投手に失策を記録する。

- 10 () 1番打者が三塁ゴロ失策で出塁、2番打者は三振となり一死となったところで、A投手からB投手に交代した。3番打者は二塁ゴロで二死の後、4番打者が左中間に本塁打を打ち2点を入れた。アウトの機会が3度あるので、2点ともに非自責点である。
- 11 () 4回裏、打ち合わせ違反でFP・投手Kが不正投手となり、Lに交代した。5回表、KがDPの代打として再出場。Kは5回裏の守備から一塁手となり、一塁手が投手になるとの通告があった。Kは不正投手で交代しているため守備にはつくことは出来ない。
- 12 () 3回表、一死後、2番打者Bが死球による出血を伴う負傷をしたので、1番打者のBを代替プレイヤーとして出場させた。
- 13 () A投手は6回まで走者を一人も出さなかったが、7回二死から3番打者の打順で4番打者が打撃を行い安打を打たれ、出塁を許してしまった。しかし、守備側から打順誤りの選手であるとアピールがあり、アウトが認められたが一度は安打を打たれているため、完全試合とはならない。

MEMO

